

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                          |            |  |
|---------|--------------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 0292600046               |            |  |
| 法人名     | 倉石ハーネス株式会社               |            |  |
| 事業所名    | グループホームおおま荘              |            |  |
| 所在地     | 青森県下北郡大間町大字大間字大間平38番地519 |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成29年10月10日              | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |  |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 |  |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |  |  |
|-------|-------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会 |  |  |
| 所在地   | 青森県青森市中央3丁目20番30号 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成29年11月1日        |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症になっても、住み慣れた地域での馴染みの生活を尊重しながら、能力に応じて、自立した生活を維持できるように心がけ、支援に努めています。また、地域の一員として、地域の方々と交流が途切れないよう、行事を通して、交流できる環境づくりをしていきたいと思っています。開設から半年で、まだまだ力不足かと思いますが、支援についても職員一丸となって、日々模索しながら話し合い、同じ方向に向かっていくよう、連携しながら取り組んでいこうと努力している途中です。作り上げている途中の施設ですが、利用者様とご家族様に信頼され、安心してお預けできる施設を目指していきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|--|--|---|--|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)     | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                       | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)  | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |   |  |

## 自己評価および外部評価結果

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|---|--|------|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 理念は全職員の意見を聞いて方向性を決め、管理者で話し合い、利用者本位の考えにつながるように作成している。常に見える所に理念を提示し、実践につなげるように努めている。                 |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 第一歩として敬老会を開催し、地域の老人クラブの方々に訪問をお願いしており、踊りを披露していただいている他、一緒に会食をしながらお祝いをすることで、今後も継続的に交流ができるよう、お願いをしている。 |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | グループホームとしての自覚を持ち、認知症の方々が地域で長く生活できるよう、他事業所とも協力しながら理解につなげている。  |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 運営推進会議を通して、地域の方々から意見をいただき、サービスの向上に努めているように取り組んでいる。   |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 事業所の立ち上げということで、指摘をいただいたり、情報交換等を密に行い、理解と協力をいただきながら、一つ一つ取り組んでいる。                                     |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 玄関は施錠せず、行動の早期発見のために、棟の入り口に鈴を付けている。外出希望時は同行したり、家族の協力を得ながら、身体拘束のないケアに取り組むように努めている。                   |      |                   |

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|-----|---|--|------|-------------------|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている        | 職場研修を通して、学ぶ機会を設けている。また、声かけにも気を配る必要があることを指導しながら、職員一同、虐待にならないように努力している。                              |      |                   |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 日常生活自立支援事業に対しては、日々、現場の中で一つ一つ管理者が指導している。成年後見制度については、まだできていない。                                       |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | 契約時は、利用者や家族等にホームの特徴や取り組み等を説明し、意見や要望を聞きながら、理解していただいている。退居の際には、退居先の情報提供を行う等の支援について、説明を行っている。         |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | 利用者や家族とは、面会や普段の生活の中で会話する機会を持ち、意見を聞いている。意見や要望があった時は、速やかに管理者で話し合い、職員の意見等を聞きながら、解決に向けて対応している。         |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                   | 毎月、全体会議やユニット会議で話し合い、検討している。月1回、法人の福祉部会議を開催し、意見や報告を提案して、指示を仰いでいる。                                   |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている    | 職員の労働条件を整えており、年2回の健康診断を実施予定であり、健康を保つ体制を整えている。就業規則があり、いつでも閲覧できるようにしている。資格手当の支給や有給休暇が取りやすいように配慮している。 |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている      | 質の確保・向上に向けて、研修や講習に参加し、会議時に復命を行い、全職員に周知できるようにしている。外部研修にも参加できるように、体制を整えている。                          |      |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
|                             |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14                          |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | いこくま荘やさい荘等と交流し、夏祭り等の行事に参加している。常に情報交換や意見交換等を行いながら、サービスの向上に努めている。                            |      |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |      |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている        | 利用者の不安や希望等を把握し、家族と情報共有・協力しながら、一緒に利用者を支援できるよう、話し合う機会を設け、信頼関係を築けるように努めている。                   |      |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                   | 入居申し込みの時点から話し合いを多く持ち、本人のニーズや家族の要望、できる事を聞き取りながら、関係づくりに取り組んでいる。                              |      |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている               | 必要なサービスに応じて、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携を図り、対応・支援している。  |      |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 本人を理解して受け入れ、能力を把握しながら、個別のケアを心がけている。これまでしてきた活動を継続できるよう、状況に応じて声がけしている。                       |      |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 家族とは常に情報交換を行い、本人の要望等と家族のできる事を考慮しながら、関係が途切れないように努めている。お盆の外泊等、利用者や家族から要望があれば、外出や外泊の支援を行っている。 |      |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                               | 会話の中から、本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所等を聞き取り、できるだけ関係が途切れないよう、家族とも情報を共有し、支援に努めている。                   |      |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                   | 共同生活の中でも安心して生活できるよう、利用者同士の関係づくりには気をつけながら、孤立しないように努めている。また、利用者同士が共に助け合い、支え合って暮らしていただけるように努めている。         |      |                   |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | サービス終了後も関係を大切にし、何か相談あれば声をかけてくださるよう伝え、相談、支援に応じる姿勢を示している。  |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 一人ひとりとゆっくり向き合って話ができるように努めており、希望や意向にはできる限り対応するように努めている。必要に応じて、家族にも支援の協力をいただきながら、対応に努めている。               |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 担当職員を決め、各ユニット管理者を中心とし、ケアカンファレンスにて検討している。また、職員が発言できるように会議を進めている。朝は両棟一緒に申し送りを行い、全職員で把握できるように努めている。       |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 利用者の健康管理や現状を把握し、報告・連絡・相談をしながら、職員間での共有に努めている。また、利用者の生活リズムや心身状態の把握に努め、有する力に合わせた作業等ができるよう、環境づくりに努めている。    |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 利用者本位であることを意識し、尊重しながら、介護計画を作成している。状況の変化に応じて、見直しを行っている他、介護計画に基づいたケアが行われるよう、ケース記録にも綴り、職員の目に付きやすいようにしている。 |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                                      | 日々の様子や状況等について、個別ケース記録に記入し、職員間で報告・連絡・相談を行って、情報を共有しながら実践しており、介護計画の見直しに活かしている。                             |      |                   |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                             | 本人の馴染みの暮らしの継続を支援するために、柔軟な支援や対応に努めている。また、状況に応じて、両棟の職員が協力しながら、柔軟に支援に努めている。                                |      |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                       | 地域の団体等の協力を得ながら、孤立した施設とならないように努めている。安全面については、消防の総合訓練をお願いしている他、救急救命講習も全職員で受講している。                         |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                   | 定期受診や体調不良等の臨時の受診にも対応している。受診後は家族に報告し、共有を図っている他、必要に応じて、家族に同行をお願いしながら対応している。                               |      |                   |
| 31 |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                        | 10月1日からパートで准看護師を採用しており、連携しながら、健康面での管理を中心に行っていただき、必要に応じて、職員へのアドバイスを行っている。通院時の同行や医療職へスムーズな連携ができるように努めていく。 |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院や退院に向け、医療機関と家族が話し合いを行う場に同行させていただき、情報を共有できるように努めている。退院後も安心して生活できるよう、相談や情報収集をしながら、関係づくりに取り組んでいる。        |      |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 33                               | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 施設でできる事を説明し、理解していただき、家族や医療機関と話し合っている。重度化した場合や終末期の在り方については、医療機関からもアドバイス・指示をいただき、必要に応じて、特別養護老人ホーム等への橋渡し等も行っている。 |      |                   |
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 夜間と緊急時の対応マニュアル、連絡網を作成し、職員の目に付きやすい所に貼り出している。救急救命の講習も受講している。今後も毎年消防にお願いし、訓練を重ねていく予定である。                         |      |                   |
| 35                               | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 3月30日に消火訓練を実施、また、職員人数が少ない夜間を想定して、10月19日に総合訓練を実施予定である。今後も年2回の避難訓練を予定している。また、緊急時の連絡網を作成し、電話の前に貼り出している。          |      |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている  | 利用者を理解するよう、各ユニット管理者が中心となって取り組んでおり、拒否や否定をせず、利用者を尊重し、プライバシーを損ねない支援を心がけ、対応している。                                  |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている   | 利用者本位を心がけ、自分の思いを表現できるように働きかけたり、自己決定できるように努めている。   |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                                   | 一人ひとりのペースを理解し、柔軟な支援を心がけている。可能な限り、希望に沿った支援ができるように努めている。  |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 39 |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                | 馴染みの生活を尊重・支援しており、希望の美容院や理容店への外出支援にも努めている。地域の理容店からも、出張して下さるとのお声がけをいただいている。   |      |                   |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている   | 季節の野菜を取り入れ、調理方法を利用者と考えながら調理している。皮むきや食器拭き、おしぼりたみは役割が自然にできている。10月は紅葉ドライブを兼ねて、外食を行う予定である。車酔いのある方については、好きな物を聞いて購入して、気分を味わっていただく予定である。 |      |                   |
| 41 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている        | 一日の水分量や食事量を記録に残している。献立は利用者と一緒に考え、バランスを考えながら、旬のものや好物等をできるだけ取り入れたものとなるように努めている。   |      |                   |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                 | 毎食後に口腔ケアを促し、支援を行っている。舌ブラシを活用し、使い方の指導と介助を行っている。義歯については、隔日で洗浄剤を使用している。また、使用後のコップや歯ブラシは毎日消毒薬に浸け、清潔保持に努めている。                          |      |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄表を作成し、確認しながら取り組んでいる。状況に応じて、声がけや誘導を行い、失禁時にも声がけに配慮して支援している。オムツやリハビリパンツ、尿パットの使用者については保清に努めている。                                     |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                 | 自然排便に努め、腹部マッサージ や水分補給、散歩、体操等を促している。必要に応じて医師に相談し、下剤の使用をしている。   |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|--|--|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた支援をしている                         | 最低週2回を目安に、状態や希望に合わせて対応している。入浴の順番や方法も、本人の思いを尊重しながら入浴していただいている。入浴が困難な方は、清拭や足浴で清潔保持し、気持ち良く生活できよう、支援に努めている。          |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 一人ひとりの習慣やパターンを把握し、日中の活動時間や量に気を配りながら、安眠できるよう、柔軟に対応している。スムーズに入眠できない時は話し相手になったり、側で見守りをする等、状況を見て対応している。              |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 個人ファイルで管理し、内服に関しては内服マニュアルを作成しながら、誤薬がないよう、職員2名で確認している。受診記録を作成し、全職員が確認して業務するよう、指導している。                             |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | 馴染みの活動を継続できるよう、一人ひとりに合った仕事への参加を声かけしており、少しずつ役割ができていく。居室で過ごすことが多い方には、声かけしながら、会話等でやりたい事等の把握に努め、できるだけ意向に沿うように配慮している。 |      |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 買い物や散歩等の要望がある時は、全職員が協力しながら、できるだけ利用者の意向に沿った対応に努めている。時には、家族にも協力をお願いしながら、支援に努めている。                                  |      |                   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | 利用者の能力や希望に応じて金銭管理を行えるよう、家族と共有しながら支援している。可能であれば、お金を手渡し、買い物等の支払いをしていただいている。  |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 電話をかけたい時は声がけしてくださるよう、お願いしている。また、ダイヤル操作を支援することもある。   |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 明るさや空調管理に気をつけ、利用者と一緒に、四季の装飾に取り組んでいる。ボランティアで毎月花を飾ってくださる方が来荘しており、ホールの中でも四季を感じることができる。また、花の話で会話が弾み、利用者間のコミュニケーションができることが多い。  |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 利用者が思い思いの場所を確保し、自由に過ごせるように工夫している。   |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 本人や家族には、馴染みの物を持参して良いことをお伝えしている。使い慣れた物や安心できる物で、落ち着ける空間づくりを行っている。ハサミ等の刃物については、了解をいただいて施設で預かり、使用する時に声をかけてくださるよう、協力していただいている。 |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 手すりの設置や洗面所の高さ・水圧を調整する等、工夫している。また、居室やホールの危険な角にはクッションテープを貼り、対応している。歩行時も転倒につながらないように、手の届く距離で見守りをさせていただいている。                  |      |                   |